

## 令和5年4月子どもの姿 入園おめでとう！



4月10日、お天気に恵まれ、令和5年度入園式が行われました。色とりどりの春の花々に迎えられて、元気な7名の新入園児たちが、矢田南幼稚園のりす組さんになりました。

これから三年間、矢田南幼稚園の豊かな自然環境の中で、いきいきと、笑顔いっぱいでお過ごせますよう、職員一同力を合わせて頑張っていきます。

### 幼稚園の生活がはじまった！

朝は、お母さんと離れたたくなくて、ちょっぴり悲しくなって泣いちゃうこともあるけれど、幼稚園が始まると、元気に遊びだしています。



### “りすぐみさん まったたよのかい”

入園してきたりす組さんを迎えようと、幼稚園のリーダーすみれ組さんがたんぼ組さんを誘って“りすぐみさん まったたよのかい”と名付けた歓迎会を企画し開いてくれました。これから一緒にいっぱい遊ぼうね。

どんな会にするか、何をするか、リーダーになったすみれ組さんが一生懸命考え、サブリーダーになったたんぽぽ組さんに伝えにきました。出し物のお願いをし、飾りづくりを一緒にしました。



出来上がった飾りを飾りつけ。



いよいよ、「りすぐみさん、まっけたよのかい」の始まり!

すみれ組さんに手をつないでもらって一緒に入場です。たんぽぽ組さんが大きな拍手で迎えてくれました。



「こんなに素敵な飾りつけをして、みんなを待っていていたんだよ」と言うと、年少りす組さんは飾りをじっと見つめていました。



幼稚園の歌があるんだよ、とすみれ組とたんぼぼ組のお兄さんお姉さんたちが元気よく歌って聞かせてくれました。スキップを見せてもらったり、一緒に車やウサギさんになって遊びました。ピョピョ行進曲という体を動かす遊びでもりす組さんは、大喜び。笑顔がいっぱい見られました。



最後は、お兄さんお姉さんが花道をつくってやさしさいっぱい送ってくれました。



幼稚園に来たりす組さんに、幼稚園って楽しいな、と思ってもらえるように、一生懸命考えて取り組んだ「りすぐみさん、まてたよのかい」。りす組さんの笑顔を見て大成功!と大喜びのお兄さんお姉さんたちでした。リーダーとしての初めての大事な仕事を終えたすみれ組さんは、とても満足気な表情でした。また、たんぼぼ組さんもサブリーダーとしてできることに精いっぱい取り組みました。すみれ組さんとたんぼぼ組さんが力を合わせて成功させることができました。子どもたちもそのことを感じていることが伝わってきて、“こうして子どもの心は成長していくのだ”ということが感じられた会でした。

これから1年、楽しみです。

## 泳げ! こいのぼり

今年もこいのぼりの季節がやってきました。年長すみれ組では、子どもの日についての話をし、「みどりのこいのぼり」という絵本を読みました。町の家々にあがっているこいのぼりをうらやましく思った山の動物たちが葉っぱなどを使って自分たちのこいのぼりをつくるお話です。できたこいのぼりは、動物たちをのせて海までとんでいき、大きいこいのぼりにのった動物たちは、楽しい空の散歩を楽しむのです。こいのぼりを出すと、こいのぼりぐりが始まりました。きれいに並べて大きさ比べ。「あれ、小さいこいのぼりの方が大きい!」



「どれどれ?」「次は私、次は僕」と次々交代しながら大きさ比べをしていきました。そして、「お父さんこいのぼりの大きさは?」みんな横に並んでいきました。「こども 4 人分や」と楽しみました。



「さあ、外で泳がそう!」と園庭に出ると気持ちの良い風がたくさん吹いてきます。子どもたちは、こいのぼりを持って走り出しました。



それから毎日こいのぼりをあげるすみれ組。すると、たんぼぼ組やりす組も「あ、こいのぼり!」と見つけてやって来て、「風吹いて〜」「風吹いて〜」とみんなで一生懸命言っていました。こいのぼりが泳ぎ出すと、「やった〜!!」ととても嬉しそうにしていました。

## ぼくたち、わたしたちも!

年長児の様子を見て、たんぼぼ組とりす組もこいのぼりに興味をもちました。



大きい組さんがしていることは、何でもやってみたい! やる気まんまんのたんぼぼ組とりす組でした。



## ぼくたちわたしたちのこいのぼりをつくろう！

「こいのぼり、つくりたい!」と言い出したすみれ組。「お父さんこいのぼりみたいな大きいこいのぼり、つくりたい」と大はりきり。「何でつくる?」「紙」「ダンボール」「布」「ペットボトル」「大きなポリ袋」…。そこで、実際にそのモノを出してみました。さっそく子どもたちは、それを持って走り出しました。「紙はペラペラや」「ダンボールは重たいからとばへん」「ペットボトルは何個もつないだらとばなさそう」「袋めっちゃめっちゃいい!」とポリ袋が一番いいことを体を通して感じました。



次は、大きさ!子どもたちは、こいのぼりの横にポリ袋を並べ始め、ポリ袋4枚分で作ることになりました。



染め紙やクレパスで描いたうろこをつけて完成。



完成すると嬉しくて、職員室や年中、年少のクラスに見せに行くすみれ組でした。また一つ、「やった!」が増えました。

友達と協力してつくった年長のこいのぼり。年中児と年少児は“自分の”こいのぼりです。発達に合わせて、“自分の!”を大切につくりました。



## げんきいっぱい！お出かけ

### その1 富雄川浴いへGO！

4月、初めに行ったのは富雄川浴い。年長すみれ組と年中たんぼぼ組が手をつないでいきました。ところが、行きから「しんどい〜」「まだ〜?」という子がちらほら。到着するとみんな元気いっぱい散策していました。



それぞれに見つけたモノをカメラで写真に収めたり、下げてきたポケット図鑑で名前を調べたり。春の草花がたくさん咲いていて、子どもたちは、とりこになっていました。また、テントウムシやチョウを見つけては、歓声をあげていました。

この日のみんなの一番の大発見は、シロバナタンポポです！みんなが持っていたポケット図鑑をめくると、ちゃんと載っていました。「シロバナタンポポ」たくさん見つけて名前も何度も繰り返して言っていました。

たくさん遊んで「さあ、帰ろう」と声をかけると「ええー、もっと遊びたい」「もっと居たいよ！」という声が聞かれるくらい、春の自然に触れて楽しいひと時でした。



## その2 矢田総合公園へGO！

この園外保育で、行った先は思いきり楽しむのですが、道中歩くのが苦手な子がたくさんいることが感じられ、もっとたくましく！との職員の思いから、次は矢田総合公園へ！



たくさん散策して、たくさん発見して、たくさん写真も撮って大満足！  
しかし、行き帰り歩くのが、、、(笑)

## その3 21世紀公園へGO！

そこで、今度は 21 世紀公園へ！公園では、思い思いにいろいろなことに挑戦しながら、元気いっぱい遊ぶことを楽しみました。





友達同士、助け合い。一生懸命登る友達に思わず、助けたくなりこの姿に！

あっという間に登れるようになりました。どんどんチャレンジしていく子どもたちです。



あちらこちらから飛んでくるチョウの写真を撮ろうと一生懸命です。

園外保育に行くごとに、少しずつ少しずつ歩くことに慣れてきています。たくさん出かけて、たくさん園ではできない経験をして、たくましくなっていって欲しいと願っています。

## 大発見ボード！つくろう！

昨年度のすみれ組が考え出したデジタル顕微鏡で撮影したモノの標本と大発見ボードからつくった自分図鑑。



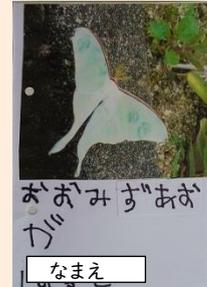
下の箱に入れたモノをデジタル顕微鏡で撮影し、名前を書いて掲示しています。

子どもたちが発見したモノを一つ一つしきりの中に入れ、上の写真と同じ場所に入れています。



大発見したモノの写真を発見者の名前とそのモノの名前を書いて大発見ボードに掲示してっていました。たくさんあったので、自分の発見したモノを集めた自分図鑑にしました。図鑑の名前も自分で考え、「大発見スペシャル図鑑」「なんでも図鑑」「すみれ大発見図鑑」などそれぞれ名付けています。

中身はこんな感じです。



この標本と自分図鑑のコピーを職員室に置いていたところ、すみれ組の子どもが見付けました。「これ、どうしたの?」「去年のすみれ組さんがつくったんだよ」「すごい!」「すごいよ」。そして、図鑑を手に取りページをめくっていきます。「これも見たい!」と別の図鑑にも手を伸ばしページをめくっていくと「すごい!」「ほんとにすごい!」「もっと見たい!これも見ていい?」とまた次の図鑑を手に取ります。「これ、いいなあ。欲しい!」と言うので、「あげられないから、つくる?」と聞くと「つくりたい!」。そして、このことをクラスみんなに伝え、この図鑑が出来上がった過程を担任と話しました。この日から、令和5年度版の大発見ボードが始まりました。

大発見したモノを写真で撮影し、名前を図鑑で調べます。プリントアウトした写真の所にその名前を書き、大発見ボードに貼ってみんなと情報を共有します。

**子どもたちの探究心はとまりません!**



実態顕微鏡・デジタル顕微鏡で見つけたモノを観察!

「見つけた!」写真を撮りたい気持ちいっぱいです。

すみれ組の子どもたちが写真を撮っていく姿を見て、たんぽぽ組の子どもたちもカメラを持って素敵なモノを見つけては写真を撮っています。(たんぽぽ組には、アウトドア用の衝撃に強いカメラを用意しています。)



写真を撮ったら職員室でプリントアウト!



紙に貼って、名前を調べて書いていきます。



令和5年度版  
大発見ボード。  
子どもたちの学びは、  
年度を超えて受け  
継がれています。

